

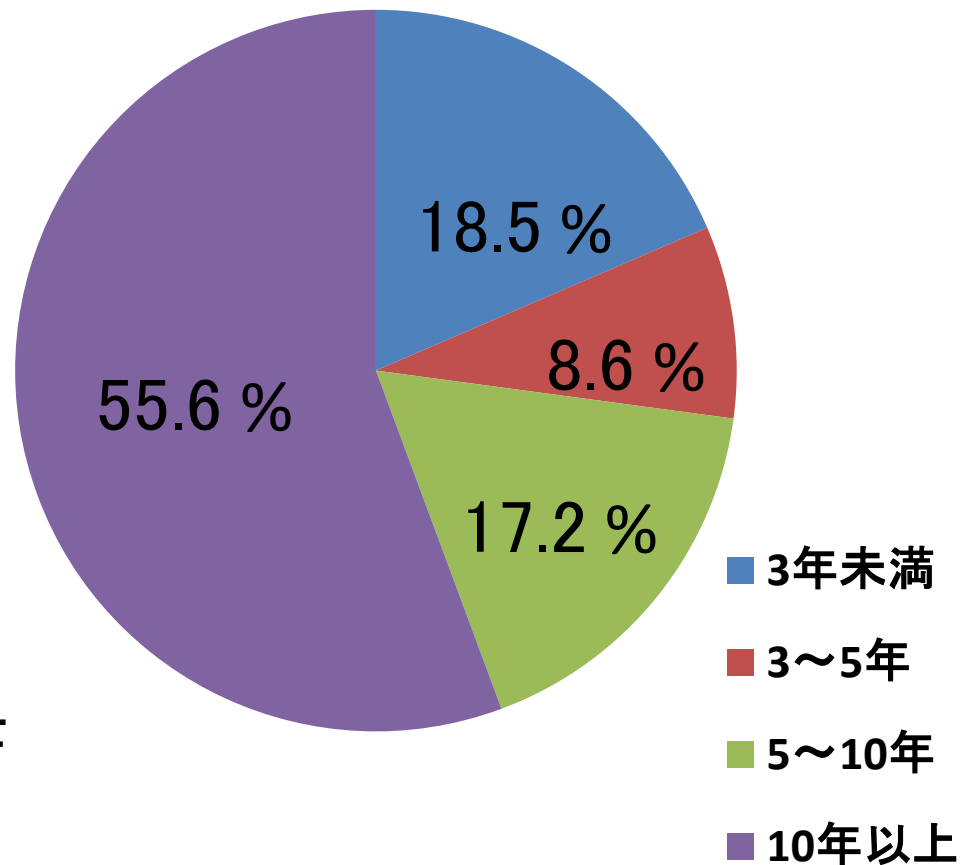
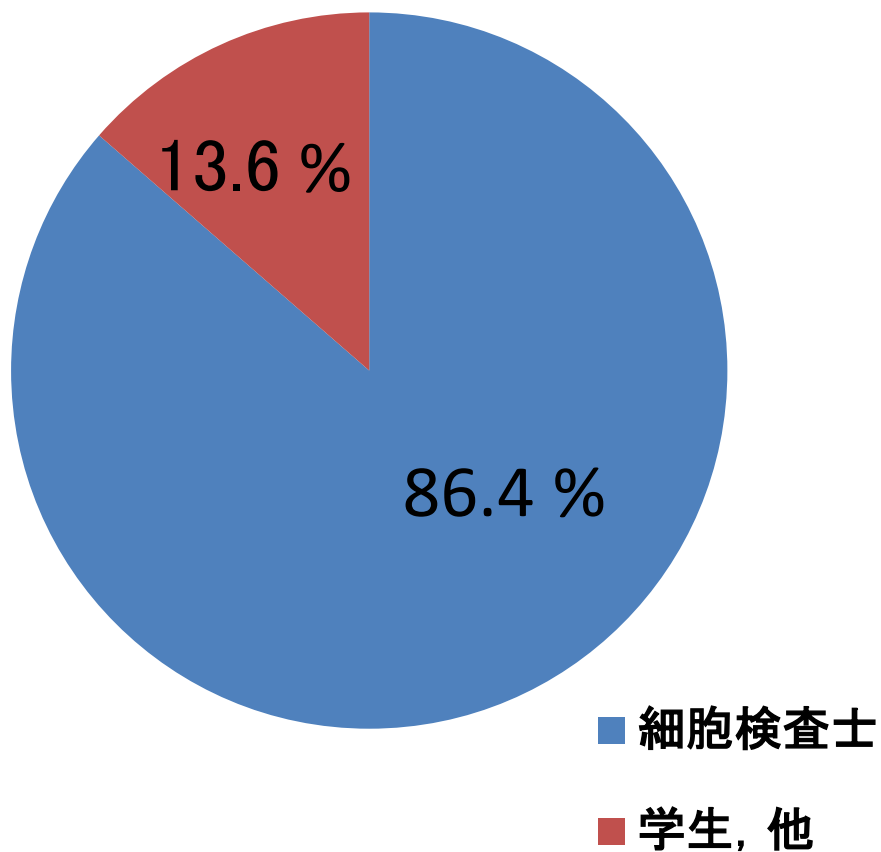
# 第47回東京都細胞検査士会学術研修会 アンケート結果

2016年6月18日(土)

慶應義塾大学信濃町キャンパス東校舎講堂

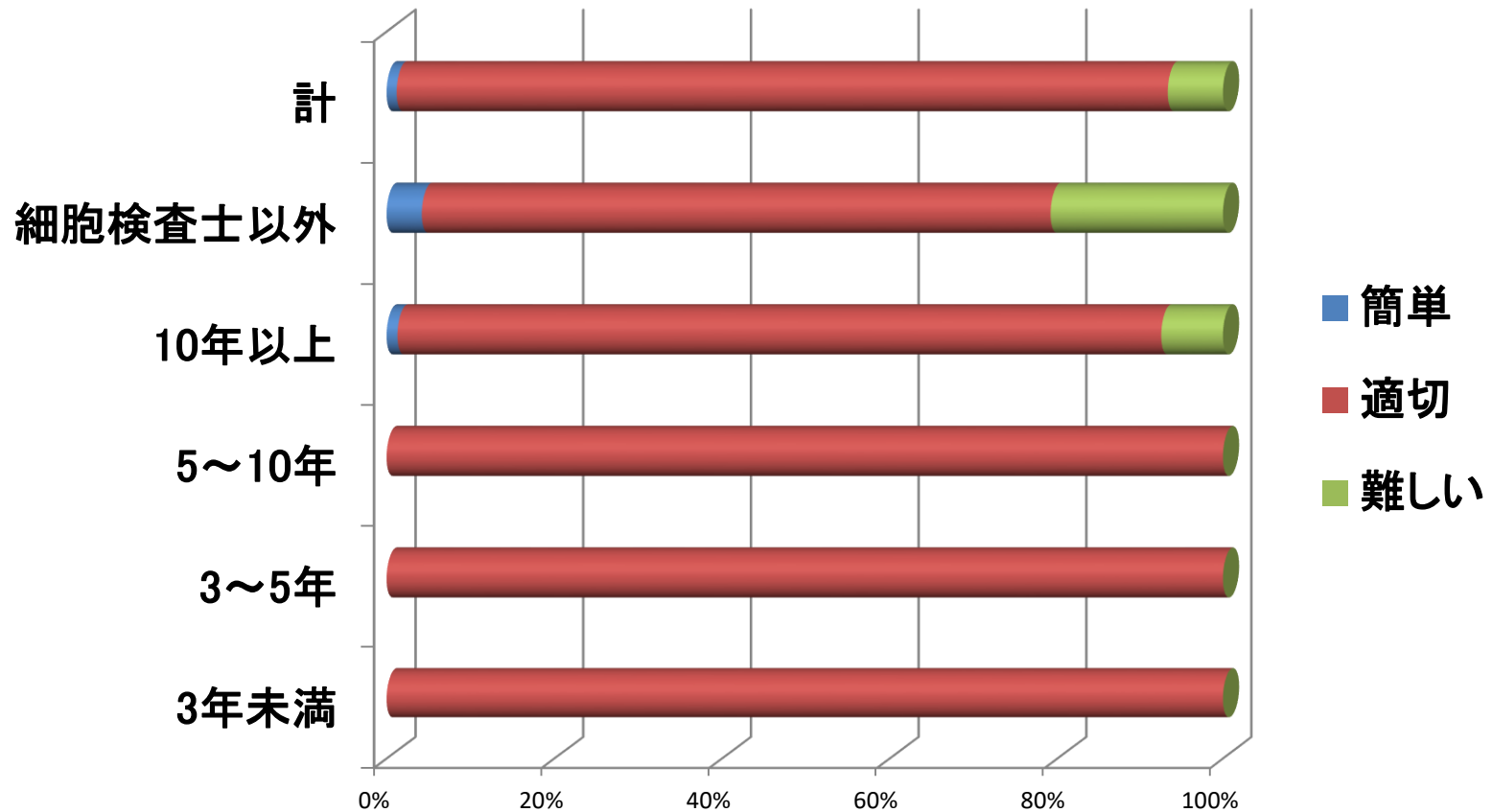
回答:176名

# I .あなたは細胞検査士ですか？



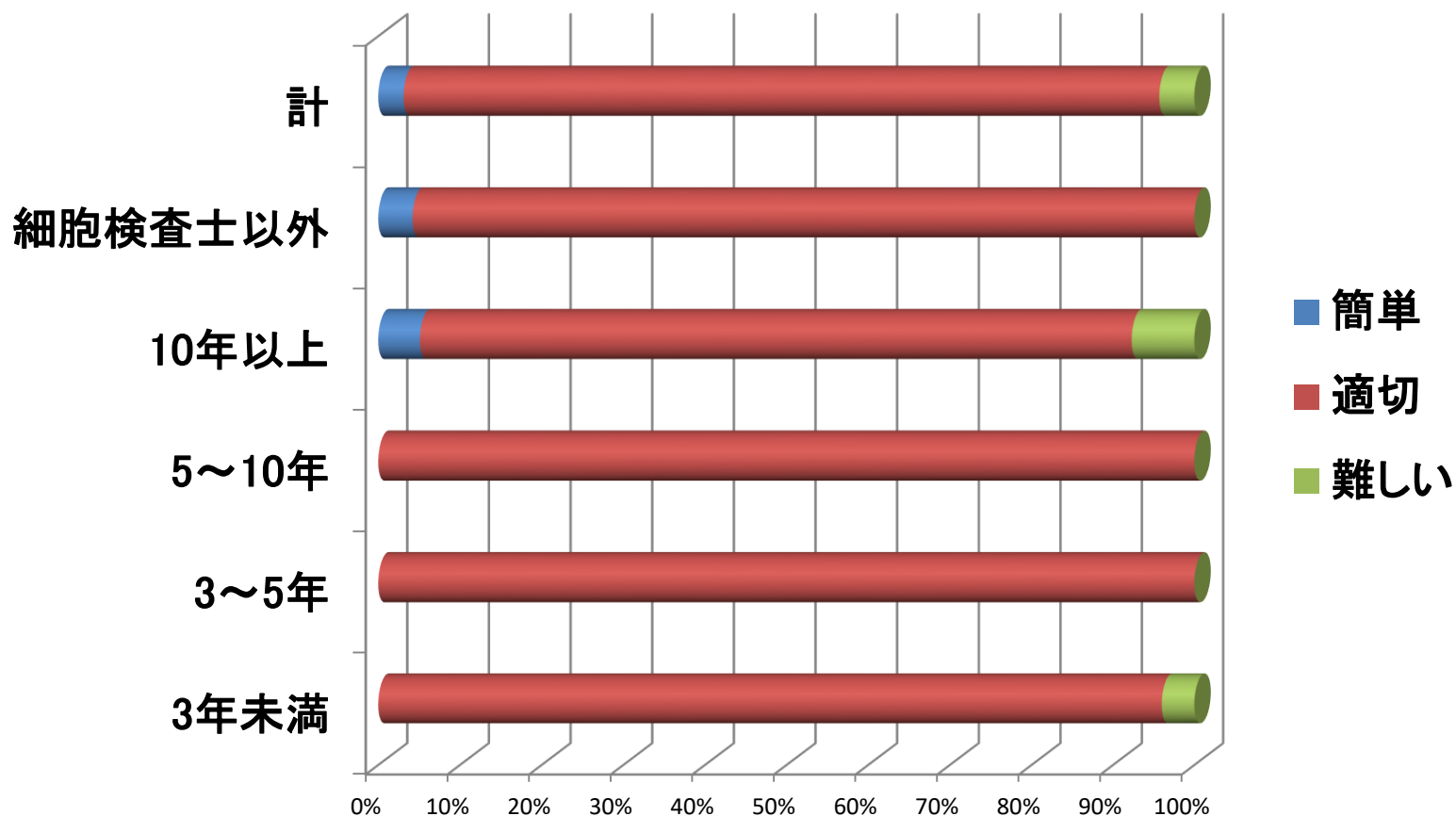
## Ⅱ. 講演・症例検討について

### 1. 「肺癌新WHO分類概説」



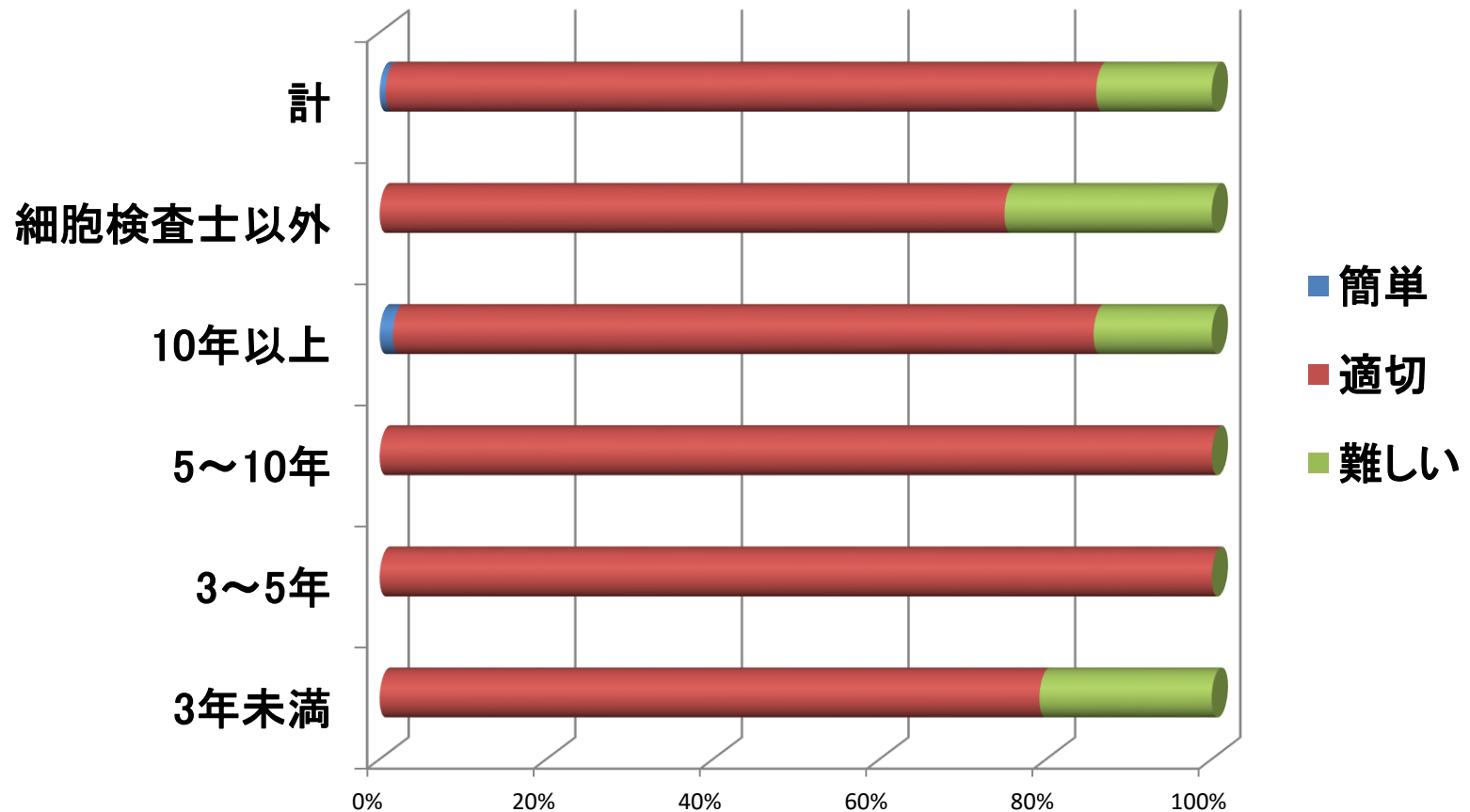
## Ⅱ. 講演・症例検討について

### 2. 「肺癌の細胞像と鑑別診断」



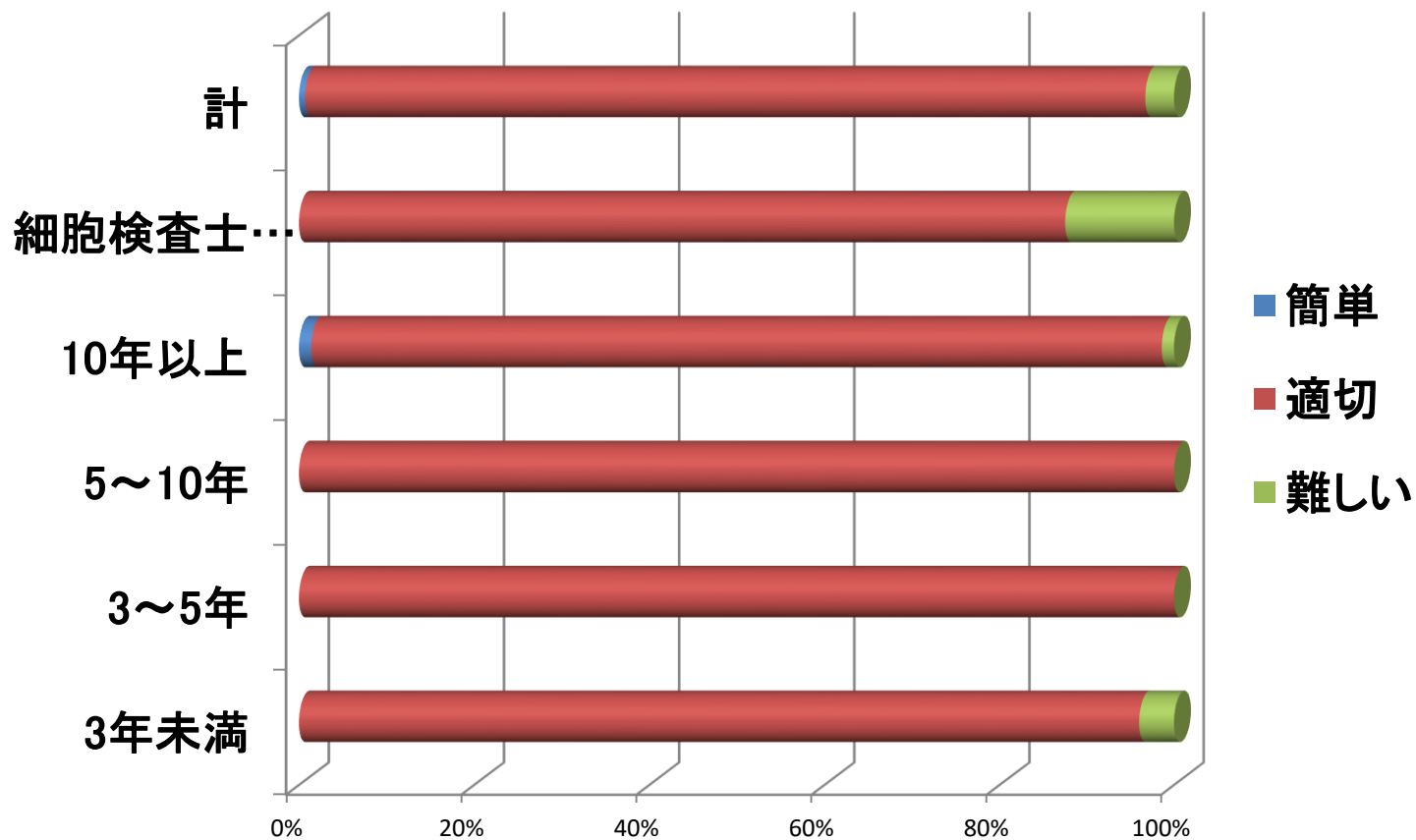
## Ⅱ. 講演・症例検討について

### 3. 「症例検討」



## Ⅱ. 講演・症例検討について

### 4. 総合的には



## II. 講演・症例検討について

### 5. 気がついた事、良くなかった事など

- ・分かり易く、役に立った。一番必要と思われる内容で良かった。(5～10年、10年～4名) 特別講演・教育講演
- ・新しい取り扱い規約が出た時、すんなりと入っていくための下地が出来たと思う。(5～10年)
- ・文字が小さいスライドがあり、分かり難いところがあった。(～3年) 特別講演
- ・気管支擦過標本は見えていないのよく分からなかった。擦過標本のみで残念。(10年～) 教育講演
- ・腺癌・扁平上皮癌の鑑別が主観的で判断が難しい。Nが少ないものは信憑性を欠く。文献を引用して客観的な知見も必要と感じた。もし引用していたら個人的な意見と区別してプレゼンしてほしい。(～3年) 教育講演
- ・スクリーンが小さく、分かり難いスライドがあった。(5名)
- ・会場が寒かった。(10年～2名)
- ・真ん中に座ると化粧室に行きたくても行けないのがつらい(10年～2名)
- ・講演内容のハンドアウトがあると良い。HPでみれると良い。(10年～)
- ・暗い中でのフラッシュがまぶしい。(～3年)

# Ⅲ. 学術研修会で取り上げて欲しい内容

## 1. 分野

		細胞検査士				細胞検査士 以外	計
		3年未満	3～5年	5～10年	10年以上		
1	脳神経	1	1	3	7	0	12
2	口腔・歯科	3	3	8	17	0	31
3	唾液腺	2	2	7	13	1	25
4	甲状腺	3	3	7	13	2	28
5	呼吸器	1	0	0	12	1	14
6	乳腺	10	3	5	16	5	39
7	消化器	2	3	4	7	4	20
8	泌尿器	4	3	9	24	2	42
9	子宮頸部	3	0	0	17	7	27
10	子宮体部	7	2	1	28	5	43
11	卵巣	1	2	0	9	3	15
12	骨・軟部	2	0	3	5	0	10
13	中皮・体腔液	6	2	2	10	3	23
14	リンパ・血液	6	3	5	15	0	29
15	その他	1	0	1	2	0	4

その他の内容

★膵臓    ★LBC    ★技術



# Ⅲ. 学術研修会で取り上げて欲しい内容

## 2. テーマ (3年未満)

- ・子宮内膜増殖症について
- ・稀少例
- ・新しい分類(WHO分類改定になった分野)について
- ・ギムザ染色について
- ・ギムザ染色でのLymphoma細胞像/マルクについて

# Ⅲ. 学術研修会で取り上げて欲しい内容

## 2. テーマ (3～5年)

- ・鑑別のポイントについて(鑑別の見方)
- ・消化器: 膵液細胞診を中心に
- ・泌尿器: すり合わせ法で作製した自然尿・カテ尿の細胞像の見方
- ・遺伝子などの最新の知見
- ・改めて基礎に立ち返った講義
- ・LBC研修会/LBCを導入したいが、具体的にどのようにしたらよいか知識がないため

# Ⅲ. 学術研修会で取り上げて欲しい内容

## 2. テーマ (5～10年)

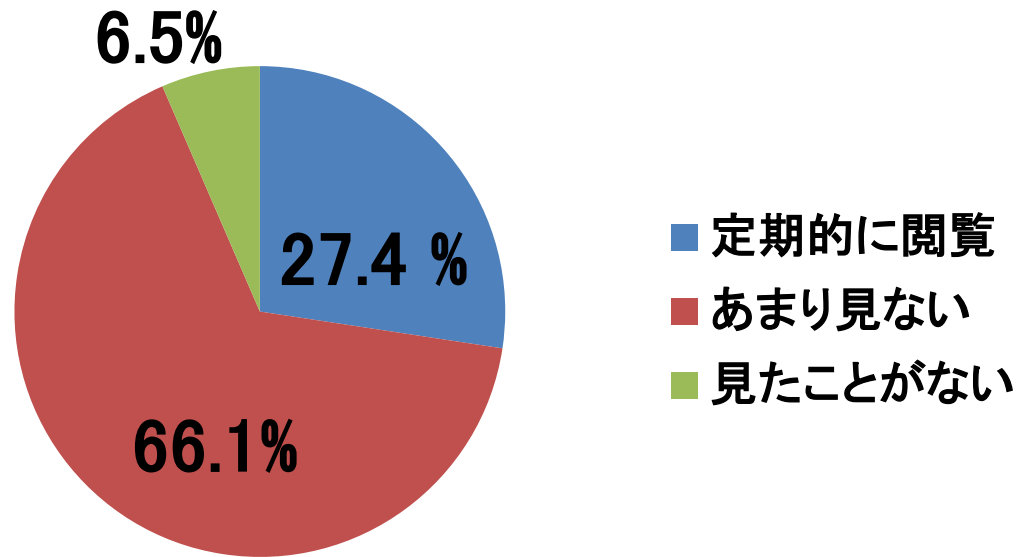
- ・今後の治療の展望について
- ・OLSILとOHSILの細胞像
- ・造血器腫瘍 新WHO分類(2016)についての解説
- ・LBCについて

# Ⅲ. 学術研修会で取り上げて欲しい内容

## 2. テーマ(10年以上)

- ・検診→病院と関連づけて細胞像を追って検討して欲しい
- ・自然尿の細胞診
- ・泌尿器:尿細胞診における低悪性度尿路上皮癌の取り扱い/どのような細胞をどこまで拾うべきか
- ・軟部腫瘍特集
- ・末梢型扁平上皮癌の細胞像(詳しく)
- ・子宮内膜増殖症について
- ・内膜細胞診
- ・喀痰細胞診
- ・遺伝子
- ・髄液細胞診(血液疾患、脳腫瘍)
- ・治療法選択に関わる検査結果/組織型分類の意味が分かるように、治療と費用(検査や薬代)生存期間の延長など
- ・用語の正しい使い方、定義
- ・保険収載されている病理学的検査の総まとめ
- ・良性病変の細胞像の見方
- ・LBCとconventional標本との細胞像の比較

# IV. 東京都細胞検査士会ホームページについて



## その他 HPに掲載してほしいこと

～3年

- ・病理技術を含めた研修会情報

10年以上

- ・発表に使用されたPower Pointの資料 (Reviewのため)
- ・今までと同様のもの
- ・求人情報
- ・東京都細胞検査士会に所属する会員の活躍 (細胞学会誌以外の論文掲載など)
- ・学術研究会の案内 (今回はHPをみて参加した)

# V. HPについての意見等

～3年

- ・今は研修会情報以外に見たい情報がないので、何かためになる情報が常に更新されれば定期的にみたい。
- ・講演のスライドをPDFでアップしてほしい。知識の共有は必要。また聞き取れなかった所などの確認が出来る。

10年以上

- ・もっとスッキリ、見やすくしてほしい。
- ・情報が欲しい時は見ている。
- ・いつも有難うございます。
- ・特になし。分からない。

## 第41回東京都細胞検査士会学術研修会 アンケート集計結果のまとめ

1. アンケートの回答は176名(細胞検査士152名, 学生他24名)から得た.
2. 細胞検査士の経験年数の内訳は, 10年以上が一番多く(55.6%), 次に3年未満(18.5%)であった.
3. 講演・症例検討については, 総合として90%以上が適切な回答であった.
4. 今回の研修会については, 会場の広さ, スクリーンの小ささ, 室温に対する批判があった
5. 今後, 学術研修会で取り上げてほしい内容については, 子宮体部, 泌尿器, 乳腺, 口腔・歯科などの意見が多かった.
6. 東京都細胞検査士会のホームページについては, 「定期的に閲覧」が少なく(27.4%), 「あまり見ない」もしくは「見たことがない」が多かった(72.6%).
7. ホームページについては, 講演スライドをPDF化して掲載してほしい. ためになる情報を常に更新してほしい. もっと見やすくしてほしい等の意見があった.

今回のアンケート結果は、今後の東京都細胞検査士会学術研修会とホームページの運営に役立てていきたいと考えております。(広報幹事会)